

3

みんなで作る
豊かなまち

① 農業の振興

ピンネ農業公社の設立 1167万円

(担当：産業振興課農林畜産グループ)

基幹産業が農業である本町において、農業経営者の高齢化や担い手不足が進行し、農家戸数の減少や農地の遊休化など地域農業が衰退する恐れが高まっています。

町とピンネ農協が共同で設立した「ピンネ農業公社」では、これらの課題に取り組み、農業後継者の育成、農地の利用集積などを行いました。



農産物ブランド化の支援 110万円

(担当：農産物ブランド化推進室)

町内で生産された農産物のブランド化を推進するため、新たな栽培方法を取り入れた良質で安全な農産物の生産や生産者自らが消費者との対面販売を実施しました。また、農産物やその加工品の販路拡大を目指した販売活動、広告活動を行っている農産物ブランド化推進協議会へ支援しました。

<農産物ブランド化推奨産品>

・トマト・メロン・玉ねぎ・シイタケ



鳥獣駆除による農業被害の防止 168万円

(担当：産業振興課農林畜産グループ)

エゾシカ、キツネ、鳥類による農業被害を防止するため、猟友会への駆除委託や、有害鳥獣を捕獲する農業者を支援する新十津川町有害鳥獣対策協議会への助成を行い、駆除対策を実施しました。

平成24年度は、エゾシカ40頭、カラス・ハト241羽、キツネ28頭を駆除しました。



国営造成施設管理体制整備の促進 1203万円

(担当：建設課都市管理グループ)

ダムや用水路等の管理費のうち、洪水防止機能などの農業生産以外の機能（多面的機能）を保全する経費を土地改良区に助成しました。また、農業用水路を適正に管理するため、地元の方々の協力で用水路周辺の草刈りを定期的に行いました。



② 林業の振興

森林総合研究所との町有林育成 2031万円

(担当：産業振興課農林畜産グループ)

環境保全と町有財産資源の確保を図るため、森林総合研究所との契約に基づき、町有林の育成及び管理を行いました。

平成24年度は、苗木の植栽10ha、苗保育のための下草刈り51.25ha、保育間伐30.52ha、森林管理用作業道の新設1,043mを行いました。



森林整備活動の支援 981万円

(担当：産業振興課農林畜産グループ)

民有林の荒廃や管理放棄を増加させないため、森林所有者が地域ごとに共同で町と協定を締結し、その協定に基づいて行った作業道の整備などの地域活動に対し、対象となる森林面積に応じて交付金を交付しました。

平成24年度の交付の対象となる森林面積は、2,404.81haでした。



一般民有林への植栽支援 246万円

(担当：産業振興課農林畜産グループ)

地球温暖化防止や土砂流出防止など、公益的機能の高い森づくりを進めるため、町内の森林において伐採後の再造林や無立木地への植栽を行う森林所有者に対して助成しました。

平成24年度は、この事業の対象となる植栽が、13.75ha行われました。



③ 商工業の振興

十津川村支援事業補助金 243万円

(担当：産業振興課商工観光グループ)

一昨年、台風による深刻な被害を受けた十津川村の商工観光産業の一日も早い復旧、復興を支援するとともに、町内の商工業の活性化を図るため、十津川村の宿泊施設利用者に対して、1人3万円分のふれあい商品券を交付しました。

なお、十津川村へは81名の方が訪問しました。



郷土くん©2009十津川村

借入資金の利子補給 204万円

(担当：産業振興課商工観光グループ)

景気の低迷に伴う中小企業者への緊急経済対策として、町内の商工事業者が国や北海道の融資制度を利用して借入している資金の利子の「2分の1相当分、1事業者上限50万円」を助成しました。平成24年度は14社に助成しました。

地元消費拡大 600万円

(担当：産業振興課商工観光グループ)

商工会と商業団体が連携を図り、地元での購買意欲の向上と消費拡大を図るため、商工会が販売した割増商品券の割増分とスタンプラリー抽選会に助成しました。

割増商品券は平成24年12月2日に発売され、1口1万円で1万2000円分の商品券が2,500口販売されました。

また、スタンプラリー事業は平成24年9月2日に抽選会を行い、707人が参加しました。



④ 観光の振興

イベントの共催

700万円

(担当：産業振興課商工観光グループ)

新十津川町の夏、冬の最大のイベントとなっている、ふるさとまつりと雪まつりの企画と運営を行っているふるさとまつり実行委員会へ開催費用の一部を助成しました。

7月29日にふるさとまつり、1月27日に雪まつりが開催され、それぞれに350万円の助成を行いました。

<平成24年度の来場者数>

- ・ふるさとまつり 8,000人
- ・雪まつり 4,500人



観光P Rの推進

269万円

(担当：産業振興課商工観光グループ)

平成24年度は、町内イベント充実のために、観光イベントで使用するテント幕を一部更新しました。

また、東京や札幌で開催された観光P Rイベントなどに参加し、観光・特産品のP Rを行いました。



文化伝習館での工芸体験

425万円

(担当：産業振興課商工観光グループ)

文化伝習館では陶芸・染物・織物の講座を週3回実施しています。この講座の他に、体験メニューも実施しました。

団体利用は5月から7月に集中しており、研修旅行に組んでいる学校もあります。

<平成24年度の体験人数>

陶芸体験	1,644人
染物体験	576人
織物体験	458人
合計	2,678人

